

Technology to Inspire Innovation

**2017年度第1四半期
(2017年4月~6月)
決算補足資料**

2017年7月26日

6807 日本航空電子工業株式会社

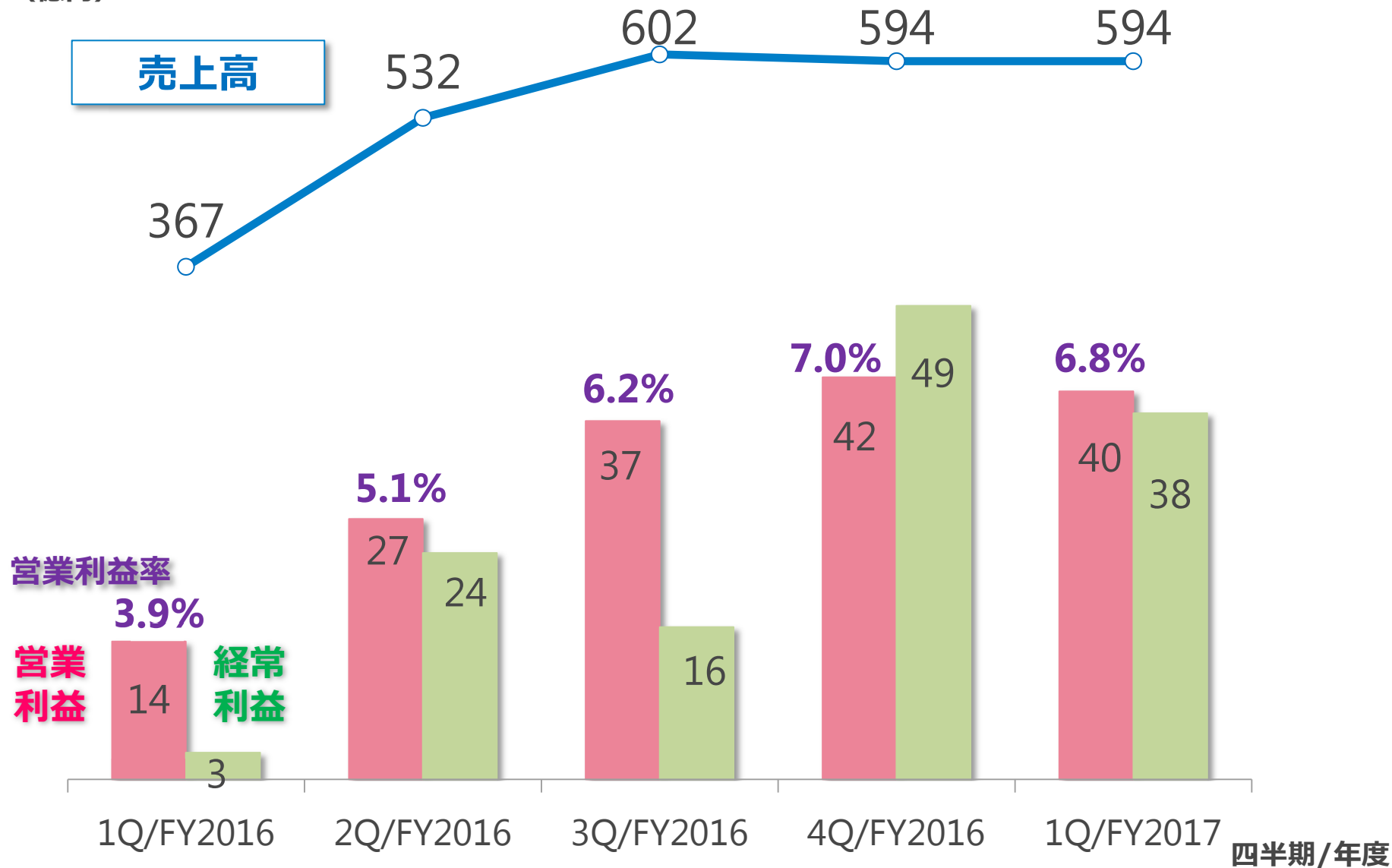
億円	2016年度1Q (16/4~6)	2016年度4Q (17/1~3)	2017年度1Q (17/4~6)	前年同期比 1QFY2017/1QFY2016		前四半期比 1QFY2017/4QFY2016	
				(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	367	594	594	227	162%	0	100%
営業利益 対売上比	14 3.9%	42 7.0%	40 6.8%	26	282%	-1	96%
経常利益 対売上比	3 0.8%	49 8.3%	38 6.4%	35	—	-11	77%
純利益 対売上比	4 1.0%	35 5.9%	28 4.7%	24	791%	-7	79%

為替レート (円/US\$)	108.0	113.6	111.1	3.1	-2.5
-------------------	-------	-------	-------	-----	------

※ 前年同期比の(%)は伸長率

全社 四半期別売上・利益推移

(億円)



全社市場別売上高

億円	2016年度1Q (16/4~6)		2016年度4Q (17/1~3)		2017年度1Q (17/4~6)		前年同期比 1QFY2017/1QFY2016		前四半期比 1QFY2017/4QFY2016	
		(構成比)		(構成比)		(構成比)				
携帯機器	122	33%	315	53%	317	53%	195	259%	3	101%
自動車	158	43%	171	29%	164	28%	7	104%	-6	96%
産機・インフラ	60	16%	71	12%	73	12%	13	122%	2	103%
その他	26	7%	38	6%	39	7%	13	149%	1	104%
計	367	100%	594	100%	594	100%	228	162%	0	100%
国内	125	34%	154	26%	144	24%	19	115%	-10	94%
海外	242	66%	441	74%	450	76%	209	186%	9	102%

※ 前年同期比の(%)は伸長率

億円	2016年度1Q (16/4~6)		2016年度4Q (17/1~3)		2017年度1Q (17/4~6)		前年同期比 1QFY2017/1QFY2016		前四半期比 1QFY2017/4QFY2016	
		(構成比)		(構成比)		(構成比)				
コネクタ	324	88%	536	90%	550	93%	226	170%	14	103%
UIS	18	5%	23	4%	21	4%	3	119%	-2	93%
航機	24	6%	34	6%	21	4%	-3	89%	-12	63%
その他	2	0%	2	0%	2	0%	0	130%	0	103%
計	367	100%	594	100%	594	100%	228	162%	0	100%

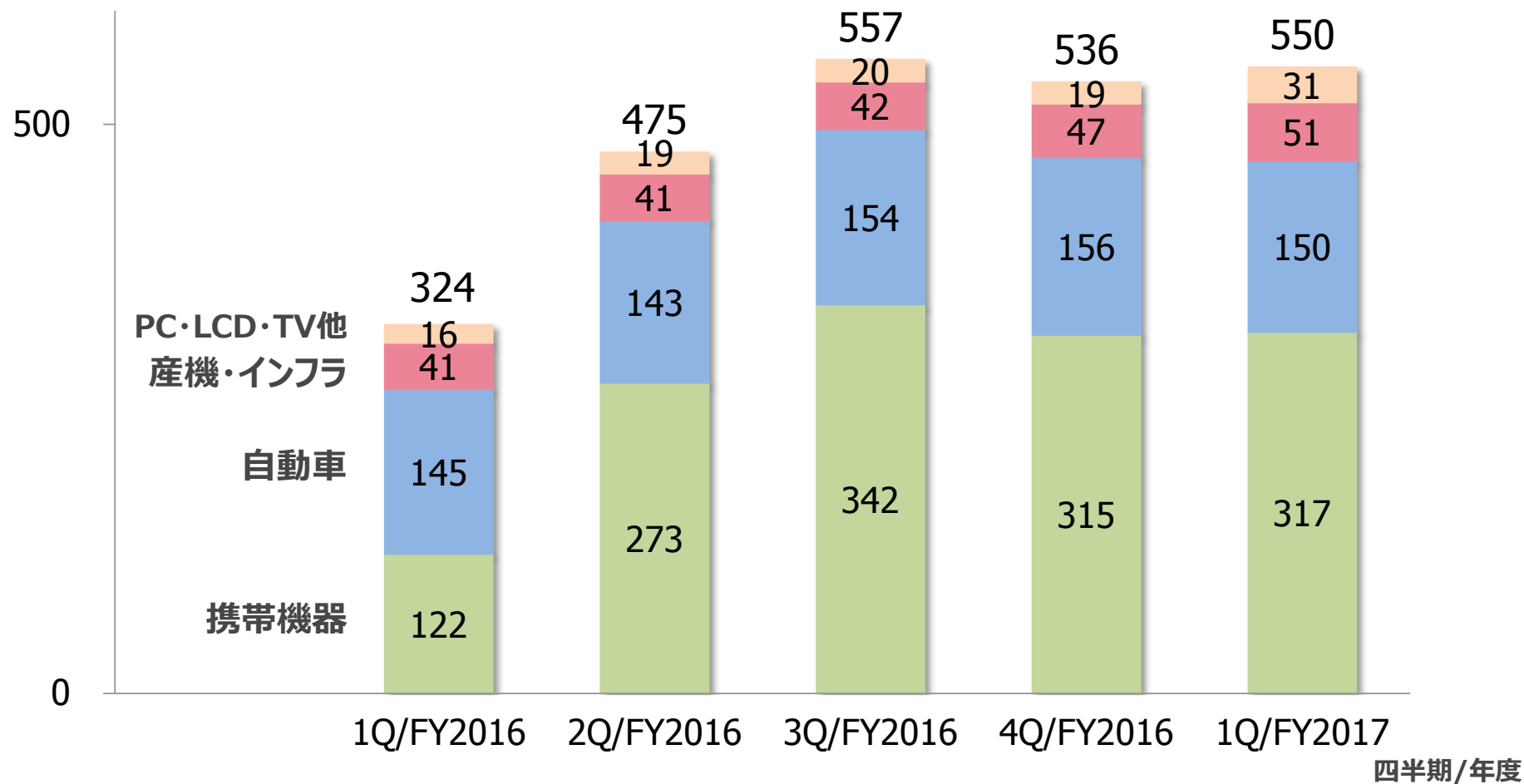
※ 前年同期比の(%)は伸長率

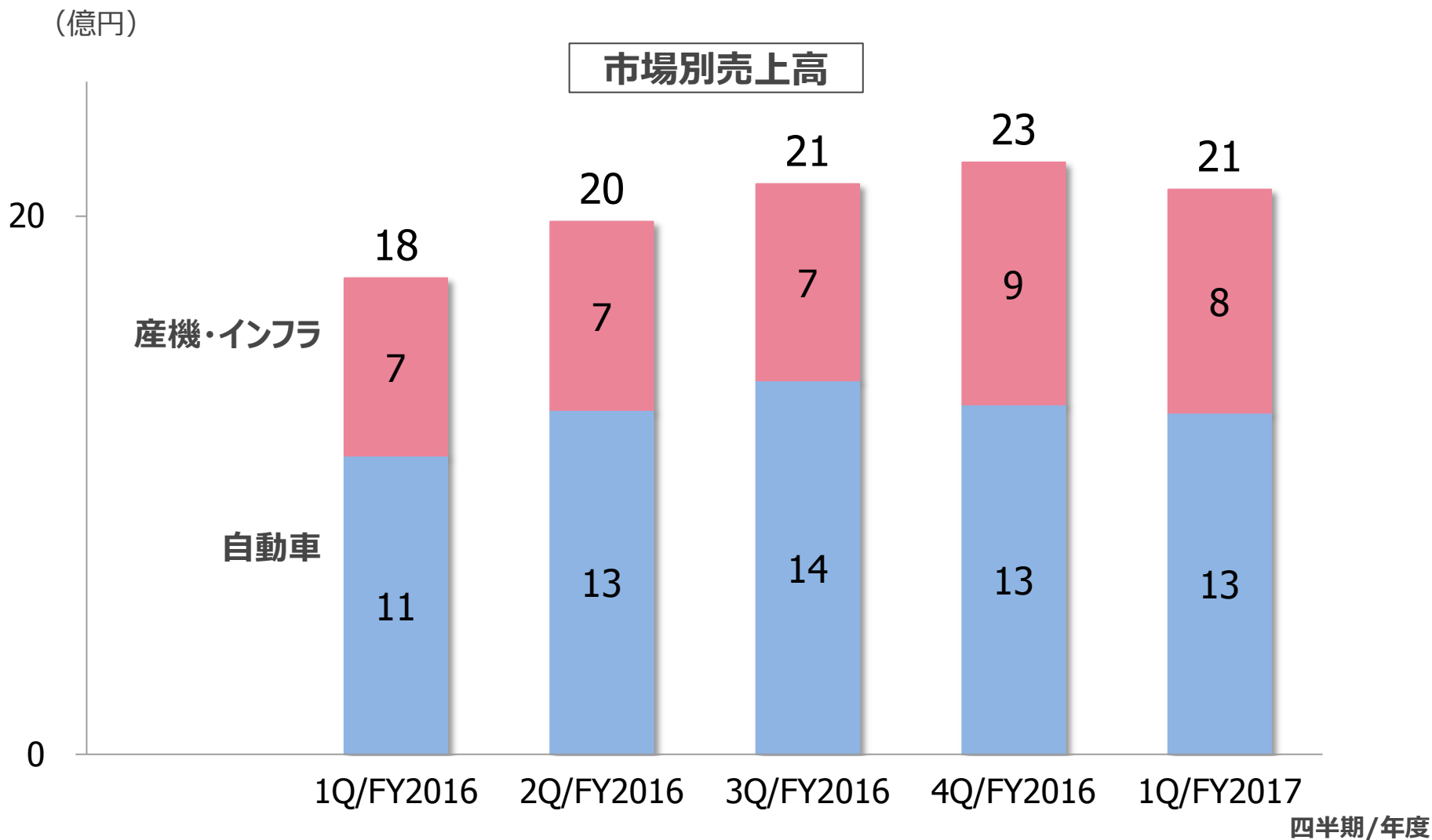
事業部門別営業利益

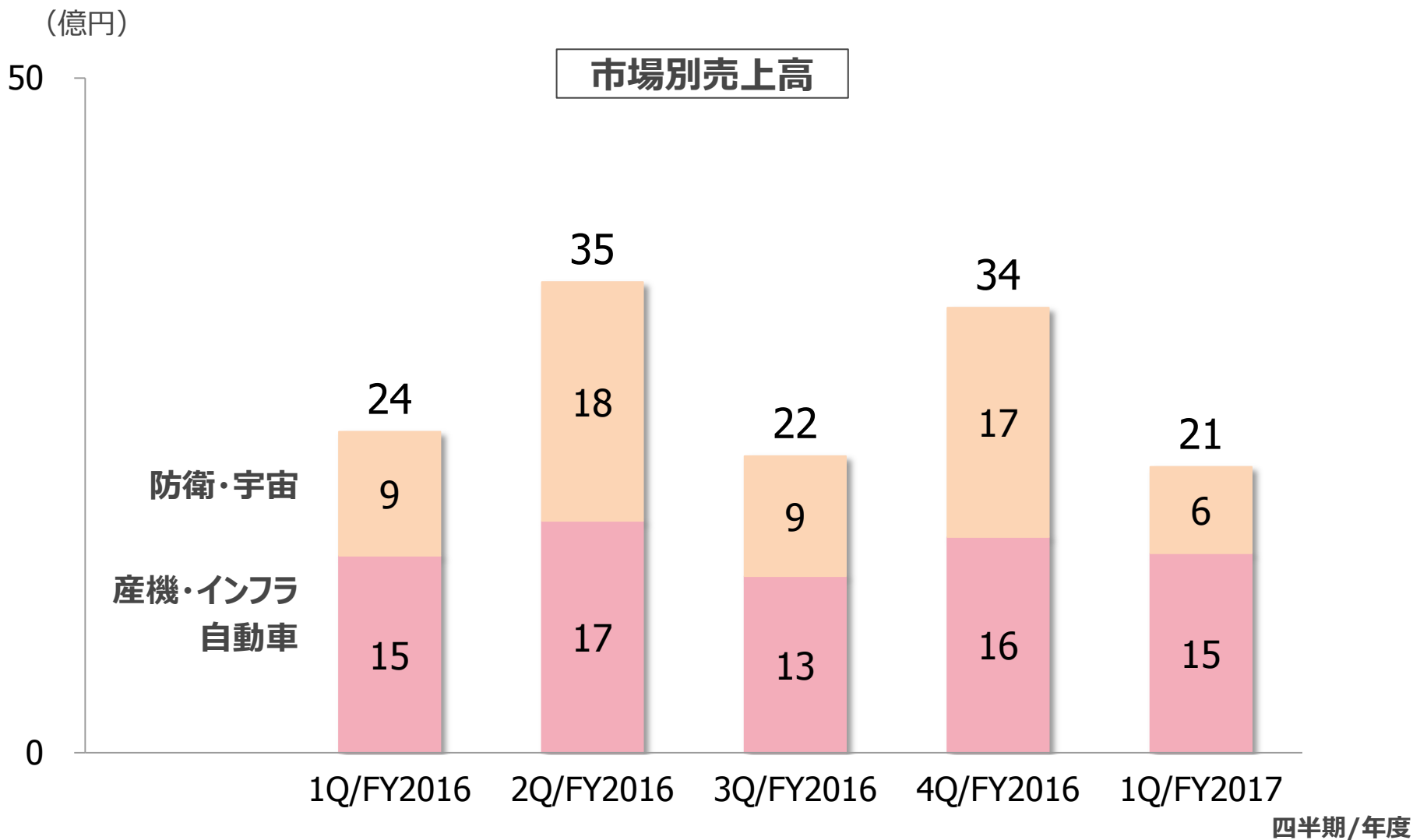
億円	2016年度1Q (16/4~6)	2016年度4Q (17/1~3)	2017年度1Q (17/4~6)	前年同期比 1QFY2017/1QFY2016	前四半期比 1QFY2017/4QFY2016
コネクタ 売上高比	26 8.1%	49 9.1%	50 9.1%	24	1
UIS 売上高比	2 11.6%	2 11.0%	2 10.5%	0	-0
航機 売上高比	-3 -12.8%	2 4.5%	-2 -7.9%	1	-3
配賦不能 他	-11	-11	-10	1	1
全社 売上高比	14 3.9%	42 7.0%	40 6.8%	26	-2

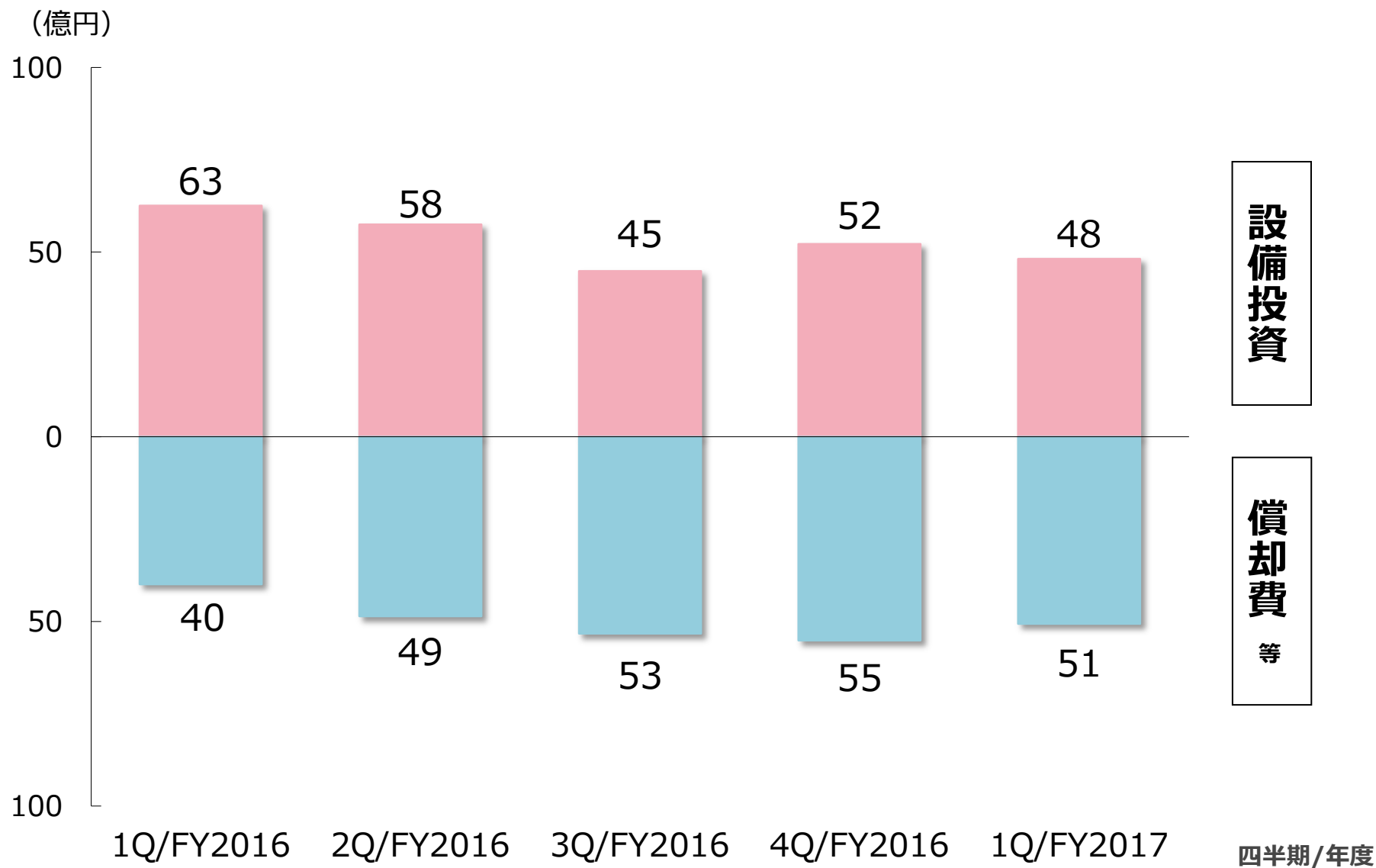
(億円)

市場別売上高









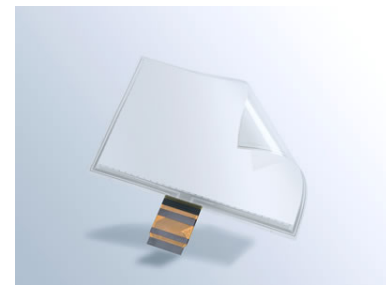
Technology to Inspire Innovation

JAE

UISフィルムセル

高精細印刷技術により、大画面化・曲面デザインに対応可能な車載用フィルムセンサを販売開始

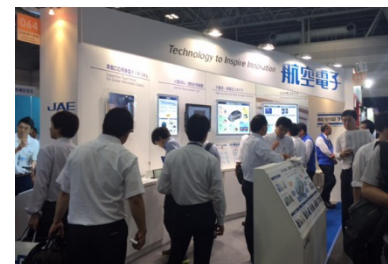
車載CID(Center Information Display)における、パネルの大画面化、マルチ画面化、操作感・デザイン性向上のニーズに応え、車載用フィルムセンサを販売開始しました。当製品は、センサ電極のメタルメッシュ化(金属細線を格子状に配線)により、感度の大幅向上、大画面化・曲面化を可能とし、また、フィルム基材を1枚とすることで、軽量化、薄型化を達成し、多様なデザインに対応しております。従来のガラスセンサと、本製品の2種類のセンサにて、多様化するニーズにお応えして参ります。



お知らせ

人とするまのテクノロジー展2017（名古屋）に出展

当社は2017年6月に開催された「人とするまのテクノロジー展2017」に出展致しました。当社ブースでは、環境対応車向け大電流コネクタ・サービスプラグ・ドッキングコネクタ、車体位置検出用センサの小型IMU(慣性計測装置)、CID用静電タッチパネルのガラスセンサ、フィルムセンサの展示を行いました。



お知らせ

2017年版 航空電子技報ホームページ掲載

2017年版航空電子技報を2017年3月に当社ホームページへ掲載しております。コネクション領域では、新接続技術や、V2H向け充放電用コネクタ、車載用小型低背コネクタ等の開発、また、センサ及び応用技術からは、油田掘削向け「デジタル・ディレクショナル・モジュールの開発」などを紹介しております。

- 航空電子技報 <http://www.jae.com/jp/gihou/index.html>
- デジタル・ディレクショナル・モジュール <https://youtu.be/3WqXqY8Yny4>

<注意事項>

本資料に記載されている当社および連結子会社（以下JAEと総称します）の計画、戦略および業績見通し・目標は2017年7月26日現在の予測・目標であって、リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでありません。

むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績は、様々な要因により、見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢、市場におけるJAE製品（リフト製品を含む）に対する需要変動、競争激化による価格下落圧力、および競合各社に打ち勝ち供給し続ける能力、海外市場における事業拡大能力、事業活動に関する法規の変更やその不透明さ、潜在的な法的責任、為替レートなどがありますが、これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかですが、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因がある為、将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いいたします。

※ 本資料では、原則として金額は億円単位に四捨五入しておりますので、個別数値と合計値・増減額が一致しない場合があります